

「自分の力」を読んで

私は、数学や社会で『こんなことを覚えて、将来役に立たない』と思うことがありました。しかし、それは『ただの負け惜しみ』ということを知りました。だから、これからは負け惜しみを言わないようにしたいと思いました。また、『わからないところを、教えあったり質問しあったりすることはとても大切だ』と先生がよくおっしゃっています。わからないところを教えあうことは、教えてもらっている人はもちろん、教える人も、さらによくわかるようになります。だから、これからも、身近にわからない人がいたら、進んで教えようと思いました。また、もし私にわからないところがあれば、進んでわかっている人に質問しようと思いました。

私にも、間違った覚え方をしてしまったことがありました。そんな時はいつも「先生がおっしゃられるとおおり、たしかめをするべきだった」と後悔します。

また、人間の心はとても不思議だなと思います。2つのことがらができるだけで、学力も成績もぐんぐん伸びると聞いて驚きました。

私には、仲のよい友だちと、それほど仲のよくない人たちがいます。仲のよい友だちとは、いろいろな話をしますが、それほどよくない人とはあまり話をしません。これからは、いろいろな人たちと交流を深めて、友だちを増やし、自分の力（学力や人としての心）を伸ばしていきたいと思っています。

私には、今まで授業中に先生が「周りの人と話しあって」と指示されても「この人は私と気が合わないから嫌だな」と思ったことがあります。しかし、この「人に学ぶ」を読んで、「自分の才能を伸ばすためには『友だち』と『たしかめ』が大切だということを知りました。だから、私は勉強をしてわからなかった問題にもう一度挑戦すること、近くの席に座っているどの人とも教えあうことを実行しようと思いました。そして、今よりも『もっと挑戦してやろう』という意欲をもって勉強しようと思いました。

友だちとは、私にとってとても大切な人です。しかし、これまで友だち関係をよくすることが成績につながるとは思っていませんでした。また、『たしかめ』という言葉にも納得させられました。

私にとって、友だちとは、支え合ったり助け合ったりする、とても大切に感謝する人たちです。特に、私の友だちは、勉強のことで、自分の知らないことやわからないことをよく知っています。だから、互いにとってとても大切な存在です。

また、たしかめについては、私にとってとても必要な言葉です。これまで、私は、テストで見直しをせず、もったいないミスをしたことがありました。

だから、『友だち』と『たしかめ』という言葉を中心に響かせながら、授業やテストにのぞみたいと思いました。

「まどめのテストでできなかった問題を二度間違えないように、
見直しとたしかめをきちんとしましょう」